

夏

号

すこやか通信

すこやか通信

夏号(第16号)

発行責任者 青木日出喜
 発行 介護老人保健施設すこやか
 〒233-0016
 横浜市港南区下永谷5-81-18
 TEL. 045-821-6600

介護老人保健施設すこやか 15周年を迎えて



医療法人 明佳会
理事長 梅田佳子

介護老人保健施設すこやかは、平成14年7月に港南区下永谷に開設して以来地域関係者様のご協力のもと、15周年を迎える事ができました。

私自身、開設当初から施設理念に掲げる人間尊厳を第一に考えながら、要介護高齢者の心身状態の維持向上と、ケアに携わる職員が持つ専門性を発揮できるよう心がけながら、施設運営を進めてまいりました。

15年という時間の流れの中で、介護老人保健施設すこやかを取り巻く環境も変化しており、港南区にも様々な介護施設が建ち、地域包括ケアの必要性が唱えられ地域密着型の介護サービスも誕生しました。

介護老人保健施設すこやかは、今後も地域の皆様が必要とされる介護ニーズを把握しながら、介護老人保健施設の機能及び役割を発揮し、利用される方が満足される介護施設を目指してまいります。

高齢化が顕著となる地域社会の中で、施設名のとおり「すこやか」に住み慣れた環境で暮らし続けられるよう、職員一同日々研鑽してまいりますので、引き続き倍旧のご厚情を賜りたく、切にお願い申し上げます。

今号のトピックス

- ・15周年を迎えて
- ・すこやか15年の歩み
History of Sukoyaka
- ・熱中症対策を
- ・納涼祭のご案内
- ・百寿のお祝い
- ・着任のご挨拶
- ・編集後記

皆様のおかげで
無事に15年を
迎える事ができ
ました！



老健すこやかの施設長の大役を拝命したのは、開設から10年目を迎えた年でした。このたび15年の節目を迎えるにあたり、責任の重さを改めて実感しております。

私自身、介護施設の運営は初めてでしたが、施設職員並びに横浜東邦病院グループの協力と理解を得ながら、今まで重責を担ってまいりました。

現状、人材確保が大きな課題であります。これは介護業界全体の問題であり、介護現場の死活問題とも言えます。職場環境、求人媒体などの見直しを進めております。

今後の20年に向けて、しっかりと足元を固めながら、地域の皆様から更なる信頼を得られる施設づくりを進めてまいりますので、これまで以上のご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



介護老人保健施設
すこやか
施設長 津田征郎

施設概要

- ◇一般棟 3F:50床 4F:50床
- ◇認知専門棟 3F:20床 4F:20床
(各階ショートステイ受入れあり)
- ◇通所リハビリテーション 1日30名

TEL 045-821-6600

FAX 045-821-8500



老健すこやか

History of SUKOYAKA:開設編



歯科併設の有床診療所ワイズクリニックを運営していた医療法人明佳会は、介護保険制度施行に伴い、要介護高齢者の自立支援及び高齢化が進む地域の要望に応えるべく、明佳会での経験と横浜東邦病院グループの総力を結集させた介護老人保健施設すこやかの開設計画を進めました。

地域関係者のご協力の下、諸官庁手続きをはじめ2年に及ぶ工事期間を経て、ここ下永谷の地に平成14年7月、介護老人保健施設すこやかはオープンしました。



工事中 外部／内部



正面玄関の庇（工事中）



- 【平成14年の主な出来事】
- ・FIFAワールドカップ開幕（ちょうど開設前の研修中のこと皆でJAPANを応援しました。）
 - ・多摩川に突如、アザラシが現れタマちゃんと名づけられちょっとしたフィーバーになりました。



平成14年7月1日のオープンに先立ち、同年6月23日に、内覧会と竣工記念式典を開催しました。

地域の皆様、医療福祉関係者をはじめ、300名を超える方々が施設見学とお祝いにお越しくださいました。

また、当時の小泉総理をはじめ政財界の方々から沢山の祝電が届き、老健すこやかに期待と励ましの言葉を沢山頂きました。



老健すこやかの正面玄関横に、紅梅と白梅を植樹しました。これは開設の記念にグループ職員から、老健すこやかの贈られたプレゼントです。

毎年2月になると満開に咲き誇り、老健すこやかを見守り、共に成長しています。

15年目を迎えた今年は、アブラムシが大量発生して職員は気味の悪い春を過ごしました。（駆除済です!）

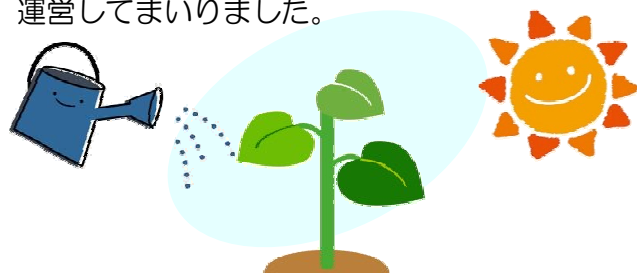


15年の歩み



History of SUKOYAKA: 運営編

開設時から地域のボランティア様のご協力を得ながら施設運営を進めて来ました。納涼祭をはじめ運動会などの施設行事も形を変えながら、企画運営してまいりました。



平成23年3月、東日本大震災のとき、建物自体に被害はなかったのですが、長時間にわたる停電。その結果、水道も停止しました。

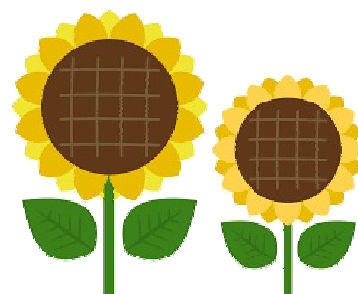
電気と水道の供給がストップした影響は甚大で、自家発電機が作動したものの、施設内の多くの機器類が使用できなくなりました。

この震災の経験から、緊急時においても冷静に対応できるよう、防災マニュアルや防災訓練の内容の見直しを行い、災害備蓄品の確保を図りました。



また、同年5月に神奈川県からの派遣要請を受けて、当時の介護主任が介護ボランティアとして宮城県気仙沼に応援に入りました。その職員に話を聞いた処『被災地は火災が発生したため、震災後2ヶ月を過ぎても、重油の臭いが充満しており、被災現場は報道で見たまま、大型船が陸地に打ち上げられ、津波被害の惨状を目の当たりにして呆然とした』そうです。

派遣先である気仙沼市総合体育館（避難先）では、同じく山形県から派遣された介護職員と協力して、主に在宅介護を受けている方々のケアを担当したということでした。



平成24年納涼祭より
左から 横浜東邦病院 梅田院長
故時天空関 長塚前施設長

開設から10年を過ぎた平成24年に、当時の長塚施設長から現在の津田施設長に交代しました。

長塚前施設長は現在も、非常勤医師としてご活躍頂いております。

5月
2台の介護浴槽を最新機種に入れ替えました。



8月
デイケアの送迎福祉車両1台が、もうすぐ新車に替わります。



6月 すこやか通りのアジサイが見頃でした。



熱中症対策を

施設内の生活で、熱中症に罹る危険性は少ないものの、入浴時や就寝中にも体の水分が失われていき、気づかないうちに熱中症に罹ってしまう、恐れがあります。

高齢者は自分で、暑さや、喉の渇きに気づきにくく、体調の変化についても我慢してしまう事があるので予防対策を促してまいります。

夏休みを迎え外出される機会が多い中、誰でも熱中症の危険が潜んでいます。

炎天下の季節になると、年齢関係無く病院に搬送される熱中症の患者を多く見受けられるので、これからの季節は、休憩を十分に取り、喉が渇く前に定期的に水分を補給して下さい。

また、きゅうりや茄子などの夏野菜には、水分が豊富に含まれており、食事に取り入れるのも熱中症予防に効果的です。

体調管理をして楽しい夏をお過ごし下さい。



納涼祭のご案内

夏の恒例行事「すこやか納涼祭」を、下記日程で開催します。

今年は「盆踊り」と施設職員による「よさこいソーラン節」、さらに何と「バルーンパフォーマー」のショータイムを企画していますので、奮ってご参加下さい。

ご家族向けの軽食もご用意いたしますので、ご利用者様と一緒に夏の思い出を作して下さい。案内状はおって送付致します。

開催日 平成29年8月27日(日)

受付開始 13時

納涼祭開始 13時40分



ハートになおれば
魔惑の言葉



百寿のお祝い

この春、お二人のご利用者様が「百歳」を迎えられました。すこやかから、表彰状を贈らせていただきました。

ちゃんちゃんこ、大黒帽、扇子を身にまとい、ご家族揃ってお祝いする光景も拝見しました。本当におめでとうございます。



着任のご挨拶

この4年ほど横浜東邦病院のリニューアルに携わり、4月1日付で「すこやか」の事務長として着任いたしました。

実はすこやかとの関わりは、平成13年の開設準備に始まり、平成14年開設後、平成17年まで勤務していたので、12年ぶりの復帰となります。

開設当時、何もかもが初めてで、全てが手探り状態でしたが、そんな中「とても助けていただいたなあ」と思いだすのは、まず他施設の方々です。質問したり、助言を求めると何でも教えていただけたこと。競争相手ではなく「仲間に迎え入れていただく」まさにそんな感覚でした。

そして…開設時のスタッフとは、皆で一緒に「すこやか」をつくり上げるという同じ目標に向かってたので、それは強い団結力を感じたものでした。

私は介護から長い間離れていたもので、これが一リスタートです。

16年目を漕ぎ出す「すこやか」とひたむきにご利用者への介護に取り組むスタッフ共々、これからもどうぞ、宜しく願いいたします。

事務長 青木日出喜



編集後記

新年度より広報誌発行の企画を進めて行く中、開設15周年記念号として、無事に発行することが出来ました。

建築工事着工前から開設当時の資料や写真を見返す中で、当時の出来事を振り返り、15年という時間の流れを重く感じました。

今後は、施設行事などを中心に季節ごとの発行を予定しています。

今後共、宜しくお願い致します。